



仙台市  
City of Sendai



PRESS RELEASE  
報道関係各位

2022年3月15日  
仙台市  
株式会社サムライインキュベート

研究開発分野の技術シーズから本気の事業化  
ビジネス創出支援プログラム「SENDAI NEW PUBLIC」 DEMO DAY  
3月25日（金）にオンライン開催決定  
～同時に事業化人材発掘キャラバン@仙台を追加開催～

<https://snp2022.peatix.com/>

仙台市（市長：郡 和子）と株式会社サムライインキュベート（本社：東京都港区、代表取締役：榊原 健太郎、以下 サムライインキュベート）は、研究成果やICTなど独自のテクノロジー・研究シーズを持ち、それらを社会に役立てていきたいという想いがある方を対象に事業創出を支援するプログラム「SENDAI NEW PUBLIC」を開催しており、採択者7名による DEMO DAY（成果発表会）を2022年3月25日（金）にオンライン開催いたします。



本プログラムは、技術シーズを持つ研究者やスタートアップの方々へ「事業計画のブラッシュアップ」や「事業コンセプトの創出」「ニーズ検証」を支援するものです。前回は採択者8名のうち2名が起業するなど、事業化に向けて確実に歩みを進めています。今回のプログラムは2021年10月より募集を開始し、研究開発型事業案の7名を選出。採択者は、仙台市やサムライインキュベートの支援を受けながら、研究開発内容をもとにビジネス創出や具現化に取り組んできました。

今回の DEMO DAY では、採択者による創出した事業案やニーズ検証、実証実験の成果を発表いたします。「持続可能な開発目標（SDGs）」に関連するディープテック領域から生み出された専門性の高い事業案の発表です。オンライン開催のため、仙台市や東北エリアのみならず日本全国から観覧していただけます。当日は審査員それぞれの観点による各賞を決定し表彰も予定しています。

また本 DEMO DAY 開催に併せて、アカデミア発の事業化人材発掘や支援を目的に、JST 社会還元加速プログラム (SCORE) 事業の一環で実施してきた事業アイデアのレクチャー・ワークショップや相談会「事業化人材発掘キャラバン」を同日開催いたします。当日は、事業創出の専門家に対して、自身の技術や研究成果を「社会実装したいものの方法がわからない」などの悩みにも各々に応じた壁打ち相談をすることが可能です。

## ■ 「SENDAI NEW PUBLIC」 DEMO DAY 開催概要

- ・開催日：2022年3月25日（金）
- ・開催時間：10:00～13:00（予定）
- ・開催場所：オンライン
- ・参加対象者：採択者の事業アイデア・技術に関心のある大手企業、中小企業、VC、自治体、大学の研究者
- ・参加申込み：<https://snp2022.peatix.com/>
- ・参加費：無料
- ・成果発表者7名と発表テーマ（登壇予定順）：

成果発表者	所属・肩書き	発表内容
菅野 恵美	東北大学大学院 医学系研究科 看護アセスメント学分野准教授	ナノ型乳酸菌を用いた生理痛緩和製品の開発
酒井 正夫	ゼロワ株式会社/東北大学 取締役 CTO/東北大学データ科学・AI 教育研究センター准教授	地域の「活性化」と「スマート化」のための 市民アクティビティ「見える化」サービス
関口 雄介	東北大学病院 理学療法士	リハビリテーションの質向上を目指す 歩行診断 AI
金子 萌	株式会社想ひ人(設立準備中) 代表取締役	ケアラー負荷軽減サービス
松尾 歩	東北大学大学院農学研究科 助教	DNA 解析を活用した 食品のトレーサビリティシステムの構築
伊藤 暁彦	横浜国立大学大学院環境情報研究院 准教授	レーザーCVD 技術を活用した 薄膜セラミックス単結晶成長
萩原 嘉廣	東北大学大学院 医学系研究科 スポーツ・運動機能再建医学寄附講座 准教授	カスタム型骨折用プレート製造

- ・審査員：
  - ー リアルテックホールディングス株式会社 グロース・マネージャー 山家 創
  - ー 仙台市経済局産業振興課スタートアップ支援担当主任 白川 裕也
  - ー 株式会社サムライインキュベート 代表取締役 榊原 健太郎
- ※審査員により、「リアルテックファンド賞」「サムライインキュベート賞」「仙台市賞」が決定いたします。

## ■ 「事業化人材発掘キャラバン」開催概要・詳細

- ・開催日：2022年3月25日（金）
- ・開催時間：13:30～17:30（13:30～14:30 事業化レクチャー、14:30～17:30 個別相談会）
- ・開催場所：スマートイノベーションラボ仙台（仙台市青葉区一番町 2-8-1 NTT 青葉通ビル東棟 1F）
- ・参加対象者：自身の技術や研究成果を社会に役立てたい方
- ・特設ページ：[https://event.samurai-incubate.asia/sendai-new-public/ac\\_caravan/](https://event.samurai-incubate.asia/sendai-new-public/ac_caravan/)
- ・応募ページ：<https://snp-0325-1330.peatix.com/>
- ・参加費：無料

## ■「SENDAI NEW PUBLIC」概要

名称：SENDAI NEW PUBLIC

特設サイト：<https://event.samurai-incubate.asia/sendai-new-public/>

## ■本プログラム実施の背景

仙台市は、2011年に発生した東日本大震災以降、女性の起業や社会起業が活発化し、「女性活躍・社会起業のための改革拠点」として国家戦略特区として位置付けられています。新たな雇用を生み出し、多様な働き方や生き方ができる起業を重要に捉え、“起業家を生み育てるエコシステム構築”に取り組んできました。

そして本プログラムでは、「高齢化の進展」「過疎化の進展」「働き方・ライフスタイルの変化」「経済構造の変化」などをさらに深掘りしたSDGsの達成につながる行政課題・地域課題を設定し、これまでの活動によるネットワークを活かしながら大学等の研究成果やICTを活用した課題解決事業アイデアを公民連携でブラッシュアップして、実用化につながる支援を強化したいと考えています。

## ■サムライインキュベートについて

社名：株式会社サムライインキュベート

住所：東京都港区六本木 1-3-50

設立：2008年3月14日





代表：代表取締役 榊原 健太郎





URL：<https://www.samurai-incubate.asia/>





以上





---




別紙<参考> 採択者 7 名 (代表者五十音順)




1	SDGs テーマ	 	 
	代表者名	伊藤 暁彦	
	所属	横浜国立大学大学院環境情報研究院	
	職名	准教授	
	取組み内容	自発的に相分離構造を形成するセラミックス結晶を低温かつ短時間に育成できる材料合成技術の開発を進めてきました。このプログラムを通じて事業コンセプトを明確化し、放射性治療薬や放射性施設を安全に利用するための撮像素子向け蛍光体としての事業化を検証します。	






2	SDGs テーマ	 	 
	代表者名	金子 萌	
	所属	株式会社想ひ人(設立準備中)	
	職名	代表取締役	
	取組み内容	ケアラー、家族、患者の三者全員が介護中心ではなく自分の望む人生を送れる“Life Care Balance”を実現するための、ぬいぐるみ型ケアラーアシスタント。ケアラーへの介護負担の偏りを解決するため、スマートスピーカーを搭載したぬいぐるみがケアラーとの会話を通じて介護状況をヒアリングし記録・ストレス度を検知して労い・癒しを提供します。また記録した介護状況を適宜サポーターにLINE上で共有することでサポーターの支援を促進して、ケアラーの介護負担を軽減させます。	

3	SDGs テーマ	 	 
	代表者名	菅野 恵美	
	所属	東北大学大学院 医学系研究科	
	職名	看護アセスメント学分野准教授	
	取組み内容	看護師としての臨床経験の後、創傷治癒に関する基礎研究を15年間継続しています。2016年「高分散性ナノ型乳酸菌(加熱死菌)」と出会い、免疫を介して傷の治りを促進する効果を発見しました。2020年の本プログラムにより、創傷以外の分野への展開として女性の健康を支えるプロダクトのニーズを確認しており、今回さらにコンセプトをブラッシュアップしたいと考えています。	

4	SDGs テーマ	 	 
	代表者名	酒井 正夫	
	所属	ゼロワ株式会社/東北大学	
	職名	取締役 CTO/ 東北大学データ科学・AI教育研究センター准教授	
	取組み内容	東北大学での研究成果に基づく先進の分散コンピューティング技術をベースにした、個人データの保護・活用システムの開発を行っています。本プログラムでは、仙台市が抱える社会・行政上の多様な課題に対して、市民の皆様のお力を積極的にお借りしながら、効率的かつ効果的に、そして楽しく解決するためのプラットフォームの開発に取り組みます。	

5	SDGs テーマ		 
	代表者名	関口 雄介	
	所属	東北大学病院	
	職名	理学療法士	
	取組み内容	<p>超高齢社会の日本では、中高年層、高齢者での発症率が高い脳卒中（脳血管疾患）患者が増加し、今後も国民医療費を圧迫していくことが見込まれます。さらに、医療従事者不足も大きな社会問題となっており、仙台を中心とする東北地方においては、65歳以上の高齢者1名あたりの療法士数が全国平均に対して少ないのが現状です。代表者らのチームは、このような社会的課題を解決するため、リハビリ医療業務の効率化とリハビリの「質」向上を両立させる、脳卒中患者の歩行データに基づくAI歩行診断システムを開発し、その事業化を目指しています。</p> <p>※昨年度採択者である大脇 大氏との共同開発者として今回のプログラムにおいて主担当を務めます。</p>	

6	SDGs テーマ		 
	代表者名	萩原 嘉廣	
	所属	東北大学大学院 医学系研究科	
	職名	スポーツ・運動機能再建医学寄附講座 准教授	
	取組み内容	<p>超高齢社会を迎えた本邦では、高齢者の増加に伴って骨折患者も増加しています。現在市販されている骨折用プレートは骨にぴったりフィットしない場合もあり、患者さんの骨の形に合った骨折用プレートを早く、安く製造できることが理想です。東北大学で開発された金属粉、金属積層技術、および医師自らが骨折用プレートをデザインできるソフトウェアを組み合わせることで、カスタムメイド型骨折用プレートの実現が可能となります。</p>	

7	SDGs テーマ	  	 
	代表者名	松尾 歩	
	所属	東北大学大学院 農学研究科	
	職名	助教	
	取組み内容	<p>加工品であっても原材料の品種・種を特定可能な独自のDNA分析技術を活かし、従来の「情報による追跡」に「科学的証拠（DNA情報）に基づく追跡」を加えた食品の新トレーサビリティシステムの構築を目指しています。同時に、DNA情報を活用した効率的な新品種の開発や病害虫の迅速な診断に関する事業についても事業化を進めています。「日本の農林水産業に携わる全ての方たちの縁の下の力持ちになる！」それが私達の目標です。</p>	